



2024年11月27日発行の 「大人の名古屋」に掲載されました。



宮大工の流れをくむ職人
“宮師”たちが魂を込め
造り上げる神棚や神具。

少し足をのばしても行きたい
三重県
伊勢

Reason why

日本人の心のふるさとである伊勢において、80年以上高級神棚を作り続けている宮忠が新たに手掛けるショップ。神宮参拝者の多くが感じる凛と澄んだ神聖な空気を、日常でも感じられるような商品が多く揃っている。神宮参拝の際に訪ね、心身を清めよう。

清らかな伊勢の空気を
感じて過ごす



宮忠 伊勢おきよめの店

ACCESS

所用時間…1時間30分
名古屋から車で東名阪道・伊勢道経由で名古屋から車で90分ほど。JR・近鉄伊勢市駅から内宮行きのバスも多数出ている。

「デザイン神棚 SHINTO」左よりSUN三社宮、KAYA三社宮、MITOBARI三社宮。

1.女優やファッション関係者の間でも話題。アクセサリブランド「KIYOME」。2.藤原氏によってデザインされた美しい店内。3.お出かけ前カチカチ浄化力を持つとされる天然石の火打ち石セット。4.伝統×モダン。洋風玄関にもフィットする、4つの伊勢モダンしめ縄。



みやちゆういせおきよめのみせ
●三重県伊勢市宇治中之切町33
☎0596-63-9550
🕒9:00~17:00
📅無休
🌐https://www.ise-miyachu.co.jp
📧@ise_okiyome

たサイズ感とコンテンポラリーなデザインは暮らしに溶け込んでゆく。「自然の恵みに感謝をして生きるの、我々日本人の原点。日々神棚に手を合わせることで、その感謝を胸に留めながら過ごすことができるのでは」と羽山さんは続けて話す。同店では天然石や麻、木曾檜を使い、神宮と同じ特別なシデをブランドロゴとしたオリジナルジュエリー「KIYOME」など、日常から心身を清らかに整えるライフスタイル商品が多く揃う。日本人が培ってきた「清める」という文化について、楽しく、深く考えさせてくれる空間でもある。

現代の生活に寄り添う
新感覚の神棚
神都・伊勢で高級神棚神具を手掛けてきた宮忠が、内宮前のおはらい町に清らかな日常をコンセプトにしたショップをオープン。旧来の神棚・神具店のイメージを覆すスタイリッシュな空間には、現代のライフスタイルに寄り添うように進化した「デザイン神棚 SHINTO」が美しくディスプレイされている。「一生に一度はお伊勢参り」と言われた、いしえにおいては、歩き旅が基本であり、費用も高額となるため、神宮参拝は高嶺の花でした。伊勢の御師が全国へ出向いて配ったお神札を手にした人々がお神札を祀る場所として神棚が広まっていった」と話すのは神職であり、この店の店長を務める羽山翼さん。宮忠が手掛ける神棚は神宮の社殿の姿を模しているのみならず、神宮と同じ木曾檜が用いられている。まさに神様をお祀りするのにふさわしい「小さな神殿」と言えるのだ。伊勢の参宮時の清々しいイメージを抽象化した「デザイン神棚 SHINTO」にも、伝統神棚と同様に木曾檜を使用。この画期的な神棚は、日本を代表するインテリアデザイナー・藤原敬介氏によって手掛けられた。現代のライフスタイルを意識し